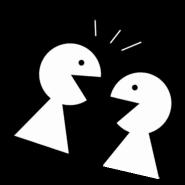
自律学習実践研究会(第3回) 2018年11月18日@東海大学

少し背伸びして話せる空間 を作りたい

武藤泰子



今日、お話しする授業

大学の日本語主専攻

1年生既習者

初級聴講練習

会話

週4時間

約30名



私とその授業の関わり

106年度2学期から

中級日語会話

初級日語会話

初級聴講練習

能力別3クラス

106-2は中間クラス

107-1初級は上級クラス



106の2学期に感じていた問題点

声が小さい

腰が重い

クラス内のコミュニケーションが少ない

いつもシーンとしている



みんながもう少し 声を出す空間にしたい

上達していることを 見える化したい

既習者はそこでとまってしまう?

今の授業

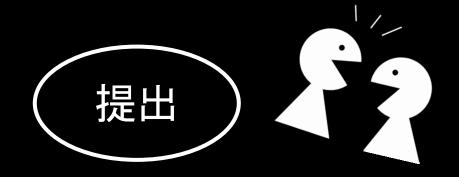
1週1テーマ

テーマについて、 まとまった語りをする

1分

ノートに記録する

会話を録音する



授業の流れ1

テーマを提示

前半 2時間

そのテーマで使える語句/話す内容等 を確認

自分の話す内容を準備

同じテーブルの人と練習



授業の流れ2

2人組で話をし合う

後半 2時間

話を聞いたあとでQ&A

これを 2回行う



ノートの書き方』

テーマ 録音を聞いて、↓ 自分が話したことを書く↩ 使いたい↓ 単語/表現↓ ·話したことを<u>そのまま</u>~ ・一行置きに書く↓ ・書いた後で自分で訂正↓ 友だちと話して知った (色ペンで) ↵ 単語・表現↩ ・話した時間も記録!↩

Ü

テーマ

- 1. 自己紹介
 - 2. 週末に何をしますか
 - 3. 家族の話をしてください
 - 4. 普段パソコンで何をしますか
 - 5. 好きな色について話してください
 - 6. 好きな人のタイプを教えてください





レベル1~10

自動音声で流れる10題の質問に45秒以内で答える

日本語会話カトレーニングブック 奥村 真希 (著), 釜渕 優子 (著)、出版社:アルク

自分にとって身近な話題に関しては、きちんと受け答えをすることができます。しかし、身近でない話題に ついては何も答えられない場合が多く、答えられたとしても短く言葉を返すだけになってしまいます。

簡単な文で話すことは大体できており、独立した短文を2つ、3つまとめて話している場合もあります。全体 としては比較的正確な文をつくっていますが、言い終わるまでに時間がかかります。

語順がバラバラになる、主語や動詞が抜けるなどの初歩的な文法の誤りが、発話全体に頻繁に見られます。 また、単語のみ、フレーズのみで答えてしまうこともあります。文法の基本的な知識が、まだしっかり身に ついていません。

発音・流暢さ

丸暗記した簡単な表現は比較的滑らかに出てきますが、自分の言葉で説明しなければならない場合は言い 直しや繰り返し、つなぎ言葉が多くなり、時には黙り込んでしまいます。発音には母語の影響が強く残り、 何度か繰り返しても通じないことがあります。

基本的に語彙・フレーズで話し、センテンスを保つことができないので、「です・ます」で話せてもその割 合は4分の1程度です。

実際の授業で

教室



6人×9

あちゃーと思ったこと



席から立ち上がらない

自分たちで1対1を作れない

強制的に2人組を作る

クラス内の人間関係

あちゃーと思ったこと続き



ノートに原稿を書いて読む

読むだけで相手に語らない

実演

一人で録音して終わりにする

話したあとで必ず 5問以上質問する

あちゃーと思ったこと 続き2



話が始められない

クラスメートと話せない

間違いないものを録音しようとする

中間テスト

1~6のテーマの中から抽選

Q&A

テストの感想・反省を提出

一人一人の状況を おおまかに把握





1	です/ます/でした/ました等の文末がある	少しある→ 文末は必ずある
2	動詞のて形、た形、~くて、 ~で、等がある	ない→ある →たくさんある
3	~とき、~が、等がある	ない→ある →たくさんある
4	~たら、~と、~ても等がある	ない→ある →たくさんある
5	~んです、がある	

改善したいこと

ノートのフィードバックが訂正だけになっている

「何を話していいかわからない」への対処ができていない

聴解教材を準備したい

自分の会話を振り返る材料を提示したい

ありかとうこだけた